

市議会だより

GOJO

発行 五條市議会 編集 議会広報編集委員会
平成28年(2016年)8月1日

No.60



五條市上野公園総合体育館（愛称：シダーアリーナ）

※平成28年7月19日開催の五條市上野公園体育館施設愛称選定委員会で愛称が決定

五條市議会第1回臨時会の概要及び 第2回6月定例会の概要

平成28年第1回臨時会は、5月9日に開会、会期を1日間と決定し、市長から提出議案の説明を受けたのち、工事請負契約の変更契約の締結など3議案並びに、議会からは、市民の利便性を考えた新庁舎建設計画を求める決議を提出し慎重審議を行いました。

平成28年第2回6月定例会は、6月6日に開会、会期を23日までの18日間と決定し、初日に市長から市政報告と提出議案の説明を受けました。

本定例会には、五條市土砂等の埋立て等の規制に関する条例の制定を始め、平成28年度五條市国民健康保険特別会計補正予算などの重要案件が市長から提案されました。

また、議会からは、地震による火災を予防する対策を求める決議などを提案し、それぞれ慎重審議を行うとともに、9名の議員が一般質問を行い、6月22日に閉会いたしました。

目次

一般質問	2～10ページ
第1回臨時会の概要	11ページ
意見書・決議	11ページ
総務文教常任委員会の報告	12ページ
厚生建設常任委員会の報告	13ページ
表決結果と議決結果ほか	14～15ページ
庁舎内喫煙についてほか	16ページ



山口耕司議員

Q: 地域公共交通について

A: 奈良交通とも連携をしながらより良いものにしていかなければならない。

若者の政策形成過程への参画について

山口 18歳選挙権が初めて実施される参院選を前に、若者の政治的関心を高める動きに注目が集まっている。少子高齢化が急速に進む中、若者の政治離れは、若者の政治的影響力が低下し、社会の沈滞化につながる。

若者の政策形成過程への参画を促進し、若者が社会における影響力を実感できるように取組を積極的に進めることが重要である。

愛知県新城市や山口県宇部市では、若者の意見を政策に反映する仕組みができています。

若者の政策形成過程への参画について本市の取組を尋ねる。

市長公室長 本市の若者がまちづくりに関わる機会をつくる目的に、五條市学生

定例会では、議案に関係なく市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。

版元気なまちづくり交付金事業を創設し、4件の応募があった。

市長 元気な五條市にするには、若者の熱い思いが必要である。全国の先進事例を参考にし、本市に合った取組を進めてまいりたい。

五條総合体育館について (災害時の避難場所としての取組について)

山口 災害時の設備を尋ねる。

都市整備部長 アリーナは約1,000人が収容でき、マンホールトイレ用の柵を5箇所設置できる。

冷暖房に使用する燃料のプロパンガス貯蔵装置から直接供給

できる災害時対応ユニットも設置の予定。



マンホールトイレ (国土交通省ホームページより転載)

(体育館を利用した地域活性化につながる政策について)

山口 スポーツを通じて、また木材を利用した体育館の視察など、今後本市において、地域活性化につながる政策について尋ねる。

教育部長 スポーツを通じて地域を活性化させる連携包括協定を、奈良県・橿原市・御所市・葛城市と締結の予定である。

市長 全国・世界にアピールの好機と捉え積極的に発信・活動を行いたい。

地域公共交通について (第27回地域公共交通会議について)

山口 実証運行・通院ライクの報告がされ、利用者の意識調査で多くの意見が聴取されているが、この反映をどのように考えるか。

市長 「住んで良かった。」と言えるまちづくりをして行かなくてはならない。奈良交通とも連携をしながら

より良いものにしていかなくてはならないと考える。

(奈良総合医療センターへの通院について)

山口 五條市内のタクシー業者が病院前で客待ちをすることができない。呼び出し電話の設置ができていないが、どのように考えているのか。



(奈良総合医療センター内タクシー呼出電話)

市長 今後の課題であり、総合的な政策の中で進めてまいりたい。

※他に、「ふるさと住民票制度の創設について」政策提案の質問をさせて頂きました。

Q: 直通バスの増便と通院バス乗車料金の負担について



A: 増便は難しいと考える。また、通院される方の負担に対する対応も考えなければならない。平岡清司議員

南奈良総合医療センター通院に際しての公共交通の配慮について

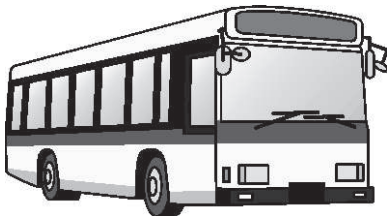
平岡 一回の乗車が2000円ということ、バスセンターで乗り継いで病院へ行く場合、往復で8000円となり、回数が増えれば大きな負担になるが、どのように考えているのか尋ねる。



市長公室長 新病院へ通院される方の負担が大きくなることに対する対応も考えなければならぬ。いろいろな意見を聞きながら検討していく。
平岡 バスセンターで乗り換えなしで、直接新病院までの往復便を増やすことができないか尋ねる。

市長公室長 直接新病院まで行くことができる便になると、奈良交通の路線の変更やデマンド型乗合タクシーの路線を変更しなければならぬので難しいと考える。

平岡 病院に行かれる方は、身体の調子が悪いから通院されます。一度作った路線でうまくいくのでしょうか。市民の要望を全部聞くのは非常に難しいと思うが、何度も見直して初めて良いものができるのではないかと。自分の家族がバスセンターで身体の調子が悪いのにバスを待っている姿を想像して、今後の検討をよろしくお願います。



生活道（私道）について

平岡 現在、私道の整備はどのように対応しているのか尋ねる。

都市整備部長 道路、排水施設の所有者が行うべきもので日常の管理は行っていない。

平岡 建設課ではできないが、私道の整備を他の課で対応することができるとか尋ねる。

産業環境部長 農林政策課でできます。

平岡 どのような場合にできるのか尋ねる。

産業環境部長 農業生産の基盤の整備、開発を凶り農村振興を促進するため、農道整備事業等に要する費用に補助金を交付している。

平岡 建設課ではできない。農林政策課ではできる。

私道を通して生活するのも農業をするのも同じ道なのに、補助金の助成があるなしには本当に考えさせられるが、その根拠について尋ねる。



都市整備部長 生活のための私道という性格の道路の助成は、当市では、行っていない。

平岡 今後取組むのか尋ねる。

都市整備部長 市民の皆様方に不公平感のないように精査する必要があると考える。

平岡 情報を収集していただき、前向きに考えていただくことをお願いする。

【その他の質問】

1. 固定資産税について
- ① 課税方法について
- ② 徴収方法について
- ③ 連携について

Q: 防災行政について

A: 熊本地震の教訓を生かし今後、地域防災計画の見直しを考えている。



窪 佳秀議員

防災行政について

窪 熊本地震への被災現場調査の教訓について伺う。

危機管理監 熊本地震は大きな揺れのものを含め余震が群発し、指定避難場所以外に避難者が集まり避難所となり支援物資が行き渡らなかつたり、支援物資の分配作業に手が回らなかつたとのことであり、今後、災害対策本部の運営方法・災害備蓄品の品揃え等見直しを図る。



窪 教訓で得たことに対し、早急に対策を講じ、万全の態勢で災害が来るのを待つという気持ちで取り組んでほしい。

テントや車中で生活ができる指定緊急避難場所の整備について伺う。

危機管理監 現在指定している指定緊急避難場所・指定避難所について再検討し、トイレ・飲料水兼用の防火水槽も含め、重要性を踏まえ検討する。

窪 大きな災害が起こると必ず発生するのが火事場泥棒である。そこで、防犯対策についての取組を伺う。
危機管理監 警察・消防機関だけでは限界がある。

「自助」・「共助」による協力が必要不可欠であり多角的に検討する。

インターチェンジ周辺の整備と周辺計画について

窪 現在の進捗状況について伺う。

都市整備部長 京奈和自動車道の御所区間は本年度中に開通予定である。

今後は、地域振興施設の基本計画の策定に向け業務

委託の発注・検討委員会の設立・基本設計・用地買収に着手する。

市長公室長 五條インターチェンジ周辺は奈良県との包括協定を締結し基本協定を本年2月に行い、引き続き個別協定の締結に向け作業中である。



窪 京奈和自動車道御所南インターチェンジの周辺計画の情報把握について伺う。

都市整備部長 国土交通省が設置する駐車場・トイレ及び休憩施設、御所市が地域特産品販売等ができる道の駅を京奈和自動車道の開通に合わせてオープンすると聞いている。

窪 現在の進捗状況では隣

接するインターチェンジで降りてしまつて、五條市にある3つのインターチェンジは通過点になつてしまう。京奈和自動車道が便利になると五條に来てもらいやすくなることを念頭に置き南和地域関係町村と連携を取り早急に計画を進めていきたい。

そこで、市長の考えを伺う。

市長 京奈和自動車道は南和地域・五條市への人の流れが大きく変化すると考えており、五條インターチェンジが単なる通過点とならないよう、五條を学び、触れ、楽しむ情報拠点とするゲートウェイを構築する考えである。

窪 市長のリーダーシップの下、他市のインターチェンジの真似をせず、五條にしかできないアイデアを早急に示し、市民がワクワクする周辺計画をお願いする。